

平成28年1月25日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について 第3回定例会議(第二部会)

東北地方整備局入札監視委員会の平成27年第3回定例会議(第二部会)が、平成27年12月21日(月)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第3回定例会議では、委員会が抽出した案件6件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

(第二部会) 仙台市青葉区本町3丁目3番1号 TEL (022) 716-0013(ダイヤル)
契約管理官 宇野沢 衛 (内線6221)
経理調達課課長補佐 佐藤 浩正 (内線6554)

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所	平成27年12月21日（月） 東北地方整備局 会議室	
委員	部会長 齊藤 幸治 【弁護士】 部会長代理 高橋 敏彦 【(学) 東北工業大学 工学部 教授】 委員 是川 晴彦 【(国) 山形大学 人文学部 教授】 [欠席]	
審議対象期間	平成27年7月1日～平成27年9月30日 (対象期間に契約締結した案件を審議)	
審議案件	総件数 6件 (別紙ー1 審議案件一覧のとおり)	
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	1件
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	2件
	工事希望型競争入札	0件
	指名競争入札	0件
	随意契約	0件
	建設コンサルタント業務等	2件
役務の提供等及び物品の製造等	1件	
	(備考) (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙ー2のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない	

審 議 案 件 一 覧

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の 数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札 (政府調達に 関する協定適 用対象工事)	相馬港4号ふ頭地区航路・泊 地(-14m)外浚渫工事	港湾等しゅ んせつ工事	3者	3者	27.8.5	五洋・本間特定 建設工事共同企 業体	2,175,120	89.22	小名浜港湾

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の 数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札 (政府調達に 関する協定適 用対象工事以 外のもの)	酒田港北港地区防波堤(北) (第二) 本体工事	港湾土木	4者	4者	27.7.22	りんかい日産建 設(株)	286,200	95.01	酒田港湾
一般競争入札 (政府調達に 関する協定適 用対象工事以 外のもの)	八戸港外港地区防波堤(中央) 外基礎工事	港湾土木	1者	1者	27.9.7	北日本海事興業 (株)	178,200	97.26	八戸港湾

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業務区分	手続きへの参 加資格及び業 務実施上の条 件を満たす参 加表明書の提 出者数	技術提案書 の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
簡易公募型プ ロポーザル方 式	青森港ビジョン推進検討業務	建設コンサル タント等	4者	4者	27.7.13	青森港ビジョン 推進検討業務み なと総合研究財 団・八千代エン 지니어リング (株)設計共同体	33,912	99.09	本局
簡易公募型プ ロポーザル方 式	東北地方津波防災支援システ ム利便性向上方策検討業務	建設コンサル タント等	1者	1者	27.8.6	(一財)沿岸技 術研究センター	34,560	99.82	本局

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の 数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札	海象観測装置定期点検・保守 業務	役務の提供 等	1者	1者	27.8.7	(株)ソニック	40,500	99.31	仙台技調

1. 報告	
意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・指名停止措置において、「捨て石が水面に脱落するのを防ぐための必要な措置をとらなかった」として気仙沼簡易裁判所から罰金刑の略式命令を受けているが、岸壁からどのくらい離す措置を行う等、具体的に規定があるか。 ・資料にある指名停止案件は7件のうち5件が東北に関係しているが、これらは全国で指名停止案件となるのか。 ・入札方式として、参加者の有無を確認する公募手続を行った契約とは具体的にどういうものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岸壁からどのくらい離れている場合に措置をとる等の規定はありません。 本件は、岸壁に仮置きした基礎捨て石を海上作業台船に積み込む際に、岸壁と台船の間にブルーシート等を敷設せず、捨て石が水面に脱落するのを防ぐための必要な措置をとらなかったとして、気仙沼海上保安部が摘発したものです。 ・これら7件は東北地方整備局が指名停止をしたものですが、この内入札談合等の悪質な2件は全国で指名停止を行っています。 ・ある特定の者しか持ち得ないと思われる技術であっても、他の者が持ち得ている可能性もあるため、公募により事前に確認を行い、他に応募する者がいなければ、予定した特定の者と契約を行う入札方式です。

2. 審議	
意見・質問	回 答
1 相馬港4号ふ頭地区航路・泊地（-14m）外浚渫工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・発注規模が大きいのに落札率が約90%となった理由はなにか。 ・応札業者は大型の浚渫船を自社で所有しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浚渫場所が防波堤で遮蔽された区域であり気象海象条件によるリスクが少ないこと、また、工事で使用するポンプ浚渫船は自社所有船を使用できた等、受注意欲が高かったのではないかと思います。 ・8,000馬力級の自社船を持っています。
2 酒田港北港地区防波堤（北）（第二）本体工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が95%と高いが何故か。 ・競争参加資格の無い者が1者いるが具体的にどういふことか。 ・技術提案に誤りがあった場合、訂正は求めたりはせず提出を受けた資料だけで判断しているのか。 ・冬期の間接費の割り増しは見ているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、海上打ち継ぎの施工時期が冬期にかかるため、気象条件による経費の増加、工程延伸のリスクなどを応札時に反映したものと推測します。 ・技術提案書が他工事の技術提案を誤って提出したため、内容が適正ではないと判断し資格なしとしています。 ・そのとおりです。 ・冬期補正を行っています。
3 八戸港外港地区防波堤（中央）外基礎工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札者が1者だけであったこと、落札率が97.26%と高い理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札説明書のダウンロードを行ったが入札に参加しなかった2者に聞き取りを行ったところ、技術者の配置、作業員の確保が困難であったとの回答がありました。 契約時期が9月ということもあり工事の最盛期であったことから技術者の配置が困難であったと思われます。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格を決めるにあたり季節的な要因を盛り込んでいないのか。 ・ そういった経費については業者も理解して計上しているということか。 ・ 太平洋側は、津波被害の復旧工事がこの時点でも続いており、業者が応札しづらい状況が続いているのか。 	<p>落札率が高かったことは、外海に面した防波堤の工事で冬期期間の海上作業となることから、海象気象条件に係る経費や工程管理等のリスクを考慮したものと推測します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリート打設については、冬期養生分を計上しており、外海に面した作業現場の休止率は規定の率を計上しています。 ・ そのとおりです。 ・ 八戸の復旧はある程度落ち着いていることから、他県への応援にいつている可能性があり、推測ではありますが震災の影響もあると思われます。
意見・質問	回 答
4 青森港ビジョン推進検討業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 落札率が99.09%と高く、見積合わせを4回行っているが、見積合わせの制度を説明願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は、簡易公募型プロポーザル方式であり、最も優れた技術提案を特定し、その提案を行った相手方との随意契約で見積合わせに付すものです。このため、見積合わせの回数制限は特にありません。 なお、競争入札の入札回数は、原則として2回を限度としております。 また、落札率が99.09%となっておりますのは公告の際に、業務規模として概算額をあらかじめ示していることから予定価格に近いものとなっております。
5 東北地方津波防災支援システム利便性向上方策検討業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 応札者が1者、落札率が99.82%と高くなっている理由を説明願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件も契約方式が簡易公募型プロポーザル方式であり、業務規模として概算額をあらかじめ示しておりますので予定価格に近いものとなっております。 本業務にあたっては、津波防災に関する知見を有し、システムの特徴を把握する高度な専門知識を有していることが必要であったことから結果的に1者参加となったと思われます。 なお、仕様書の中でシステムの特徴を把握できる様に過年度の成果物を提供できることを示しており競争性は確保されていると判断しています。
6 海象観測装置定期点検・保守業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の落札業者が継続して受注しているのか。 ・ 他の業者が参加しづらいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して受注しています。 ・ 参加要件を緩和していますが応札状況は変わっておりません。 なお、外洋における水深のある海底に設置された装置を取り扱う特殊な業務ですが、他局の状況等も踏まえ対策を検討してまいります。